

2009.9

ミニディスクロージャー誌

〔第87期 営業の中間ご報告〕

MINI DISCLOSURE

Vol. 28 2009.4.1-2009.9.30



入間川(吾妻大橋:飯能市)

武蔵野銀行は、地域に根ざす企業市民として、環境保全・創出に向けた活動に取組むとともに、リサイクルへの取組み、環境負荷に配慮した商品への提供を行っております。

この度、埼玉県の「みどり川再生」を進め「住みやすく環境にやさしい、ゆとりある田園都市埼玉」を目指す活動をご支援するため、本冊子表紙にて「川の国埼玉 魅力100選」から県内の川のスポットをご紹介します。



武蔵野銀行

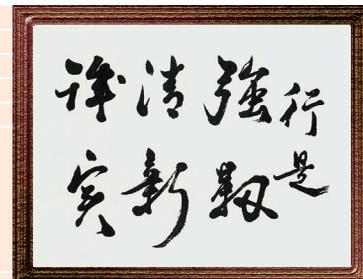
プロフィール

● 武蔵野銀行

(平成21年9月30日現在)



名 称	武蔵野銀行	
	The Musashino Bank, Ltd.	
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8	
ホームページ	http://www.musashinobank.co.jp	
設 立	昭和27年3月6日	
ネットワーク	営業店舗数	91か店 (県内89、県外2)
	住宅ローンセンター数	10か所
	法人オフィス数	3か所
	店舗外ATM数(拠点数)	125か所
	ATM・CD設置台数	482台
従業員数	2,171名	
総 資 産	3兆5,154億円	
預 金 等 残 高	3兆2,826億円	
貸 出 金 残 高	2兆6,938億円	
資 本 金	457億円	
発行済株式数	34,455,456株	
自己資本比率	10.39%	



【行是】

昭和47年に制定された行是は、「強靱(強く、粘り強いこと、日常の鍛錬と合理性・団結を伴うもの)」、「清新(新しい感覚と創造力、積極性をもって行動)」、「誠実(公共的使命を認識し地域と大衆に奉仕せよ)」の3つの言葉で、当行役職員の精神の基本となっている。

● 武蔵野銀行グループ

武蔵野銀行グループは、当行、グループ会社7社(連結子会社)で構成し、銀行業務を中心に、リース業務などの金融サービスの提供や信用保証業務、クレジットカード業務などの金融サービスに係る事業などを行っております。

ぶざん総合リース株式会社	総合リース、営業資金の貸付業務
ぶざん保証株式会社	個人向け融資に係る信用保証業務
むさしのカード株式会社	クレジットカード(JCB、VISA)、信用保証業務
ぶざんビジネスサービス株式会社	銀行事務代行業務
ぶざんシステムサービス株式会社	コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務
株式会社ぶざん地域経済研究所	県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、各種セミナーの開催
株式会社ぶざんキャピタル	ベンチャー企業等への投資、経営相談

● 目次 CONTENTS

プロフィール	1	内部管理体制	
ごあいさつ	2	コーポレート・ガバナンス体制、勧誘方針	12
業績ハイライト		県民の皆さまとともに	
貸出金・預金等の状況	3	県民の皆さまへの貸出金	13
損益の状況	4	県民の皆さまからの預金・預り資産	14
自己資本比率、格付	5	トピックス	15~17
不良債権の状況、不良債権への備え	6	株式情報	18
中間財務諸表、中間連結財務諸表	7~10		
経営方針			
経営理念、中期経営計画「VALUE UP 21」	11		

※本誌に掲載の計数は、単位未満を切り捨ての上表示しています。

ごあいさつ

皆さまには、平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行に対するご理解をより一層深めていただくため、平成21年9月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を発行いたしました。

県内の景気動向は、生産活動が持ち直しつつあるものの、設備投資、雇用情勢等は引続き厳しい状況が続いております。

このような中でも、おかげさまで預金等は順調な伸びとなり、前年同期比1,242億円増加し、3兆2,826億円となりました。貸出金も、住宅ローンを中心に個人のお客さまへのローンが順調に推移しましたことから、前年同期比466億円増加し、2兆6,938億円となりました。

しかしながら、収益面では市場金利の低下等による資金利益の減少や景況の悪化等による与信費用の高止まりから、経費削減に努めましたが、経常利益は26億円、中間純利益も16億円の水準に止まりました。一方、財務面では分配可能額は476億円、自己資本比率も10%台を維持していることから、当行の健全性は十分確保されております。

今後の経済情勢は、引続き厳しい局面が続くものと予想されますが、当行は、埼玉県という肥沃なマーケットに人材、設備、資金等あらゆる資源を集中し、地元中小企業・個人の皆さまのご信頼にお応えできるよう、より一層努力してまいります。今後とも「県民のベストリテールバンク」として「お客さま満足度No.1銀行」を目指してまいりますので、更なるご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



頭取

加藤喜久雄

平成21年12月

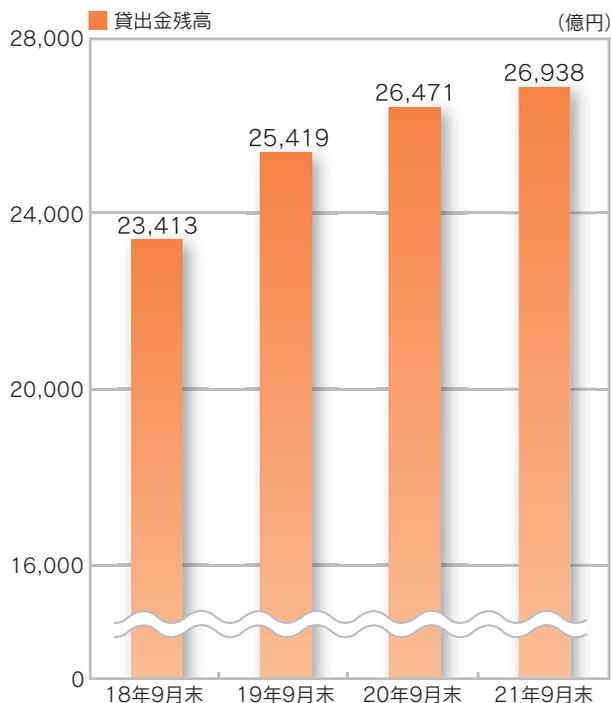
業績ハイライト

! 業績のポイント

- 貸出金残高は2兆6,938億円となり、前年同期比年率1.7%、466億円増加しました。
- 預金等残高は3兆2,826億円となり、前年同期比年率3.9%、1,242億円増加しました。

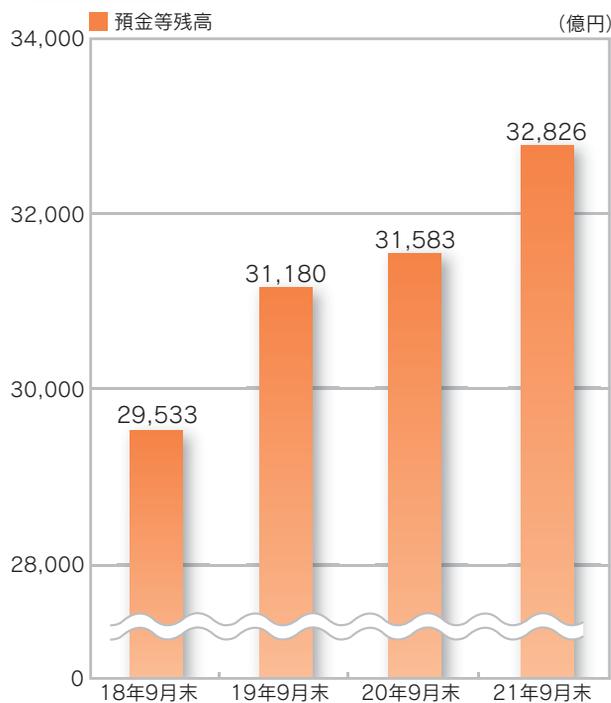
地域に
密着した営業

貸出金の状況



県内地元企業及び個人のお客さまの借入ニーズに積極的にお応えすべく取り組みました結果、前年同期比466億円増加し、2兆6,938億円となりました。

預金等の状況



お客さまの利便性が高く地域に密着した営業基盤の拡充に努めましたことなどから、前年同期比1,242億円増加し、3兆2,826億円となりました。

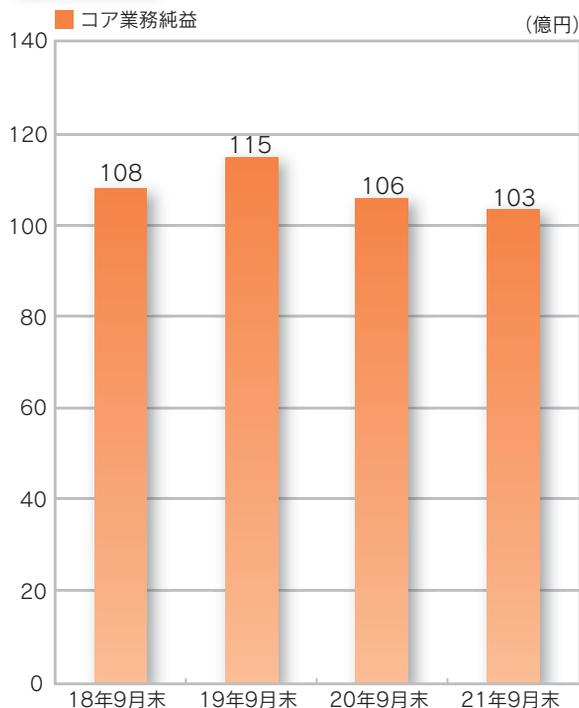
※預金等とは、預金に譲渡性預金を加えたものです。

！ 業績のポイント

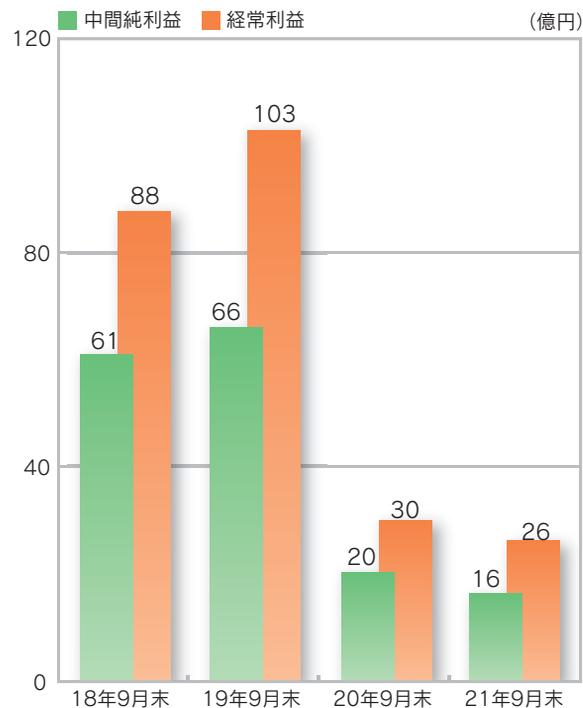
- コア業務純益は、103億円となりました。
- 経常利益は26億円、中間純利益は16億円となりました。

コア業務純益は
100億円台を確保

損益の状況



コア業務純益は、預金・貸出金が順調に増加するものの、市場金利の低下等による利鞘の縮小から資金利益が縮小、また、投信等の販売低迷から役務取引等利益が減少したことから、経費の削減等に努力したものの、前年同期比3億円減少し、103億円となりました。



資金利益の低下や景況の悪化等による与信費用の高止まりから経常利益は26億円、中間純利益も16億円の水準にとどまりました。

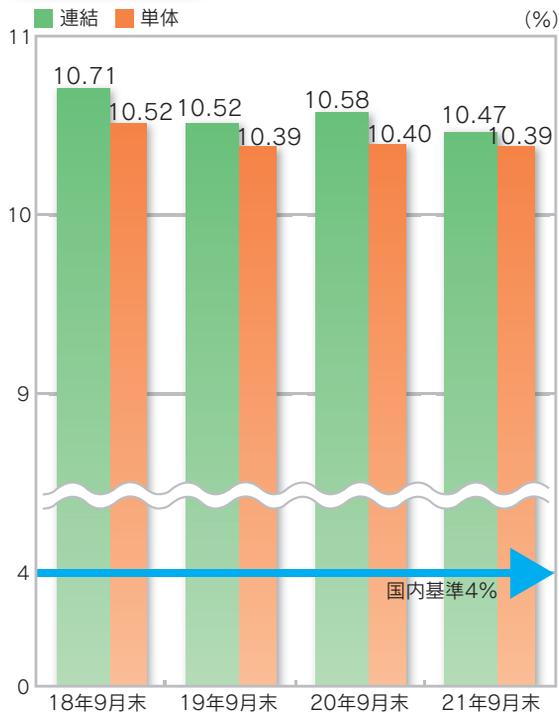
業績ハイライト

！ 業績のポイント

- 単体自己資本比率は10.39%で、財務内容は引き続き高い健全性を堅持しております。
- 格付は「A+」、債務履行の確実性が高い「投資適格」の評価を受けています。

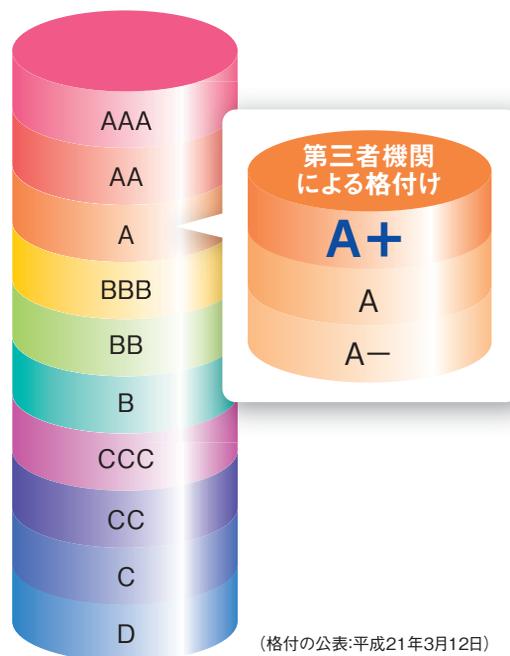
高い
健全性を堅持

自己資本比率



21年9月末の単体自己資本比率は10.39%となりました。
単体・連結ともに国内基準の4%を大幅に上回っており、当行及び当行グループの財務内容は引き続き高い健全性を堅持しております。

格付



当行は、日本格付研究所から「長期優先債務」について「A+」の格付を取得しております。
当行の格付「A+」は、「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価です。

！ 業績のポイント

- 不良債権残高は771億円となり、前年同期比27億円減少しました。
- 不良債権比率は2.83%となり、前年同期比0.15%改善しました。

不良債権への
十分な備え

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

平成21年9月末実績は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が273億円、危険債権が325億円、要管理債権が173億円となり、いわゆる不良債権残高は、前年同期比27億円減少し、771億円となりました。

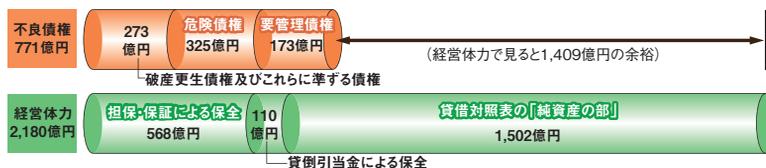
	(億円)		
	20年9月末	21年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	271	273	2
危険債権	293	325	32
要管理債権	235	173	△62
小計(不良債権)	798	771	△27
正常債権	25,944	26,406	462
合計	26,742	27,177	435

■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 危険債権 ■ 要管理債権 ■ 正常債権



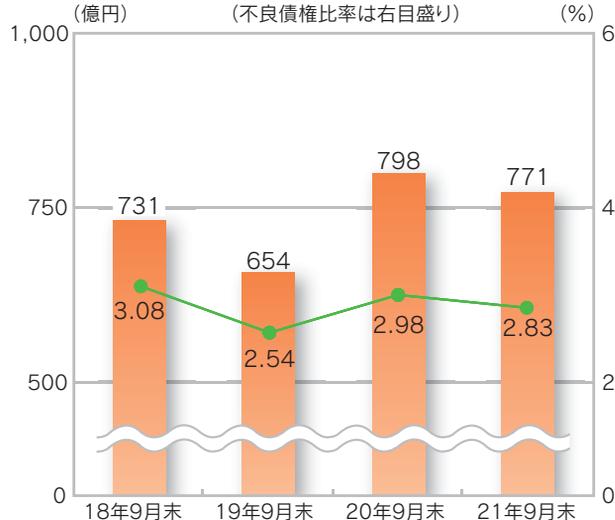
不良債権への備え

平成21年9月末の不良債権771億円に対する備えでは、担保・保証568億円、貸倒引当金110億円の678億円が確保され、保全率は87.95%です。残りの93億円は直に保全が必要な債権ではなく、仮に全額追加負担となっても、自己資本で処理できるだけの十分な経営体力を有しています。



平成21年9月末の不良債権比率は、前年同期比0.15%改善し、2.83%となりました。

■ 不良債権残高 (億円) ● 不良債権比率 (不良債権比率は右目盛り) (%)



業績ハイライト

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	平成20年9月末	平成21年9月末
(資産の部)		
現金預け金	73,160	50,475
コールローン	76,491	171,302
買入金銭債権	23,344	12,593
商品有価証券	950	401
金銭の信託	1,503	1,501
有価証券	504,130	498,586
貸出金	2,647,177	2,693,860
外国為替	1,488	3,120
その他資産	18,241	37,275
有形固定資産	34,210	34,086
無形固定資産	2,411	2,123
繰延税金資産	17,496	18,451
支払承諾見返	14,001	13,086
貸倒引当金	△17,007	△21,366
資産の部合計	3,397,600	3,515,498
(負債の部)		
預金	3,079,391	3,265,256
譲渡性預金	78,995	17,348
借入金	16,971	16,839
外国為替	59	98
社債	18,000	18,000
その他負債	23,336	21,449
未払法人税等	2,470	2,640
リース債務	170	592
その他の負債	20,695	18,216
賞与引当金	1,359	1,192
役員賞与引当金	11	—
退職給付引当金	5,659	5,623
役員退職慰労引当金	226	299
睡眠預金払戻損失引当金	290	370
再評価に係る繰延税金負債	5,641	5,641
支払承諾	14,001	13,086
負債の部合計	3,243,945	3,365,205
(純資産の部)		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	39,440	39,438
資本準備金	38,351	38,351
その他資本剰余金	1,089	1,087

(単位:百万円)

科 目	平成20年9月末	平成21年9月末
利益剰余金	66,326	59,685
利益準備金	10,087	10,087
その他利益剰余金	56,239	49,597
不動産圧縮積立金	421	412
別途積立金	51,560	46,560
繰越利益剰余金	4,257	2,625
自己株式	△1,249	△2,047
株主資本合計	150,261	142,820
その他有価証券評価差額金	△3,374	2,090
繰延ヘッジ損益	△186	△1,572
土地再評価差額金	6,955	6,955
評価・換算差額等合計	3,394	7,472
純資産の部合計	153,655	150,292
負債及び純資産の部合計	3,397,600	3,515,498

中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	平成20年度中間期	平成21年度中間期
経常収益	41,823	39,024
資金運用収益	31,296	29,801
(うち貸出金利息)	(27,448)	(26,389)
(うち有価証券利息配当金)	(3,506)	(3,101)
役員取引等収益	4,607	4,169
その他業務収益	1,639	2,703
その他経常収益	4,280	2,349
経常費用	38,808	36,419
資金調達費用	5,432	4,515
(うち預金利息)	(4,302)	(3,329)
役員取引等費用	2,204	2,234
その他業務費用	2,567	1,299
営業経費	18,925	18,828
その他経常費用	9,678	9,541
経常利益	3,015	2,604
特別利益	383	353
特別損失	20	6
税引前中間純利益	3,378	2,951
法人税、住民税及び事業税	2,347	2,550
法人税等調整額	△1,053	△1,199
法人税等合計	1,294	1,351
中間純利益	2,084	1,600

中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	平成20年度中間期	平成21年度中間期
株主資本		
資本金		
前期末残高	45,743	45,743
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	45,743	45,743
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	38,351	38,351
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	38,351	38,351
その他資本剰余金		
前期末残高	1,089	1,087
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	1,089	1,087
資本剰余金合計		
前期末残高	39,441	39,438
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	39,440	39,438
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	10,087	10,087
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	10,087	10,087
その他利益剰余金		
不動産圧縮積立金		
前期末残高	426	416
当中間期変動額		
不動産圧縮積立金の取崩	△4	△4
当中間期変動額合計	△4	△4
当中間期末残高	421	412
別途積立金		
前期末残高	42,560	51,560
当中間期変動額		
別途積立金の積立	9,000	△5,000
当中間期変動額合計	9,000	△5,000
当中間期末残高	51,560	46,560
繰越利益剰余金		
前期末残高	12,198	△2,961
当中間期変動額		
剰余金の配当	△1,030	△1,017
中間純利益	2,084	1,600
不動産圧縮積立金の取崩	4	4
別途積立金の積立	△9,000	5,000
当中間期変動額合計	△7,941	5,587
当中間期末残高	4,257	2,625
利益剰余金合計		
前期末残高	65,272	59,102
当中間期変動額		
剰余金の配当	△1,030	△1,017
中間純利益	2,084	1,600

(単位:百万円)

科 目	平成20年度中間期	平成21年度中間期
不動産圧縮積立金の取崩	—	—
別途積立金の積立	—	—
当中間期変動額合計	1,053	582
当中間期末残高	66,326	59,685
自己株式		
前期末残高	△442	△2,042
当中間期変動額		
自己株式の取得	△812	△5
自己株式の処分	5	0
当中間期変動額合計	△807	△5
当中間期末残高	△1,249	△2,047
株主資本合計		
前期末残高	150,015	142,242
当中間期変動額		
剰余金の配当	△1,030	△1,017
中間純利益	2,084	1,600
自己株式の取得	△812	△5
自己株式の処分	4	0
当中間期変動額合計	246	577
当中間期末残高	150,261	142,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	136	△3,991
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△3,511	6,081
当中間期変動額合計	△3,511	6,081
当中間期末残高	△3,374	2,090
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△1,079	△1,414
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	892	△158
当中間期変動額合計	892	△158
当中間期末残高	△186	△1,572
土地再評価差額金		
前期末残高	6,955	6,955
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	—
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	6,955	6,955
評価・換算差額等合計		
前期末残高	6,012	1,548
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,618	5,923
当中間期変動額合計	△2,618	5,923
当中間期末残高	3,394	7,472
純資産合計		
前期末残高	156,027	143,791
当中間期変動額		
剰余金の配当	△1,030	△1,017
中間純利益	2,084	1,600
自己株式の取得	△812	△5
自己株式の処分	4	0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,618	5,923
当中間期変動額合計	△2,372	6,501
当中間期末残高	153,655	150,292

業績ハイライト

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	平成20年9月末	平成21年9月末
(資産の部)		
現金預け金	73,707	53,111
コールローン及び買入手形	76,491	171,302
買入金銭債権	23,344	12,593
商品有価証券	950	401
金銭の信託	1,503	1,501
有価証券	507,060	498,942
貸出金	2,636,281	2,683,953
外国為替	1,488	3,120
リース債権及びリース投資資産	16,003	16,429
その他資産	28,800	45,769
有形固定資産	36,038	35,632
無形固定資産	2,505	2,307
繰延税金資産	19,942	21,388
支払承諾見返	14,001	13,086
貸倒引当金	△22,048	△26,976
資産の部合計	3,416,071	3,532,564
(負債の部)		
預金	3,075,359	3,258,281
譲渡性預金	75,995	14,348
借入金	27,195	29,037
外国為替	59	98
社債	18,000	18,000
その他負債	34,185	32,073
賞与引当金	1,431	1,267
役員賞与引当金	31	10
退職給付引当金	5,707	5,675
役員退職慰労引当金	226	299
利息返還損失引当金	64	103
睡眠預金払戻損失引当金	290	370
ポイント引当金	62	62
再評価に係る繰延税金負債	5,641	5,641
支払承諾	14,001	13,086
負債の部合計	3,258,251	3,378,358
(純資産の部)		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	39,440	39,438
利益剰余金	67,305	60,127
自己株式	△1,249	△2,047
株主資本合計	151,239	143,262
その他有価証券評価差額金	△3,372	2,092
繰延ヘッジ損益	△186	△1,572
土地再評価差額金	6,955	6,955
評価・換算差額等合計	3,396	7,474
少数株主持分	3,183	3,468
純資産の部合計	157,820	154,206
負債及び純資産の部合計	3,416,071	3,532,564

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成20年度中間期	平成21年度中間期
経常収益	47,528	44,388
資金運用収益	31,424	29,933
(うち貸出金利息)	(27,557)	(26,501)
(うち有価証券利息配当金)	(3,522)	(3,116)
役員取引等収益	5,169	4,643
その他業務収益	1,960	3,006
その他経常収益	8,973	6,805
経常費用	44,124	41,883
資金調達費用	5,512	4,592
(うち預金利息)	(4,298)	(3,328)
役員取引等費用	1,913	1,953
その他業務費用	2,567	1,299
営業経費	19,359	19,217
その他経常費用	14,770	14,820
経常利益	3,403	2,505
特別利益	384	356
償却債権取立益	384	353
その他の特別利益	0	2
特別損失	20	6
固定資産処分損	20	6
税金等調整前中間純利益	3,767	2,854
法人税、住民税及び事業税	2,676	2,943
法人税等調整額	△1,317	△1,506
法人税等合計	1,358	1,437
少数株主利益	311	49
中間純利益	2,096	1,368

連結子会社7社

- ぶぎん総合リース株式会社
- ぶぎん保証株式会社
- むさしのカード株式会社
- ぶぎんビジネスサービス株式会社
- ぶぎんシステムサービス株式会社
- 株式会社ぶぎん地域経済研究所
- 株式会社ぶぎんキャピタル

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	平成20年度中間期	平成21年度中間期
株主資本		
資本金		
前期末残高	45,743	45,743
当中間期変動額	—	—
当中間期末残高	45,743	45,743
資本剰余金		
前期末残高	39,441	39,438
当中間期変動額	△0	△0
自己株式の処分	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	39,440	39,438
利益剰余金		
前期末残高	66,229	59,776
当中間期変動額		
剰余金の配当	△1,030	△1,017
中間純利益	2,096	1,368
その他	9	—
当中間期変動額合計	1,075	350
当中間期末残高	67,305	60,127
自己株式		
前期末残高	△442	△2,042
当中間期変動額		
自己株式の取得	△812	△5
自己株式の処分	5	0
当中間期変動額合計	△807	△5
当中間期末残高	△1,249	△2,047
株主資本合計		
前期末残高	150,971	142,916
当中間期変動額		
剰余金の配当	△1,030	△1,017
中間純利益	2,096	1,368
自己株式の取得	△812	△5
自己株式の処分	4	△0
その他	9	—
当中間期変動額合計	268	345
当中間期末残高	151,239	143,262
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	139	△3,990
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△3,511	6,082
当中間期変動額合計	△3,511	6,082
当中間期末残高	△3,372	2,092
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△1,079	△1,414

(単位:百万円)

科 目	平成20年度中間期	平成21年度中間期
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	892	△158
当中間期変動額合計	892	△158
当中間期末残高	△186	△1,572
土地再評価差額金		
前期末残高	6,955	6,955
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	—
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	6,955	6,955
評価・換算差額等合計		
前期末残高	6,015	1,550
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,618	5,924
当中間期変動額合計	△2,618	5,924
当中間期末残高	3,396	7,474
少数株主持分		
前期末残高	2,839	3,328
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	343	140
当中間期変動額合計	343	140
当中間期末残高	3,183	3,468
純資産合計		
前期末残高	159,826	147,795
当中間期変動額		
剰余金の配当	△1,030	△1,017
中間純利益	2,096	1,368
自己株式の取得	△812	△5
自己株式の処分	4	0
その他	9	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,274	6,064
当中間期変動額合計	△2,006	6,410
当中間期末残高	157,820	154,206

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	平成20年度中間期	平成21年度中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,299	37,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,163	△40,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,842	△1,026
現金及び現金同等物の増減額	1,021	△4,227
現金及び現金同等物の期首残高	71,656	54,120
現金及び現金同等物の中間期末残高	72,678	49,892

(△は減少)

経営方針

経営理念

「地域共存」……豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。

「顧客尊重」……変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最高のサービスを提供します。

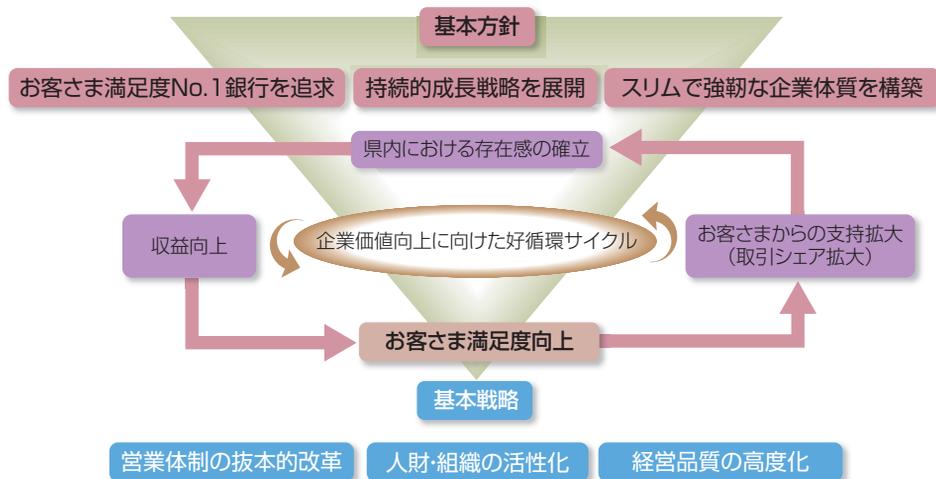
当行は、「地域共存」「顧客尊重」を永遠の経営理念に掲げており、平成19年4月から平成22年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画「VALUE UP 21」に、グループを挙げて取り組んでおります。

基本方針・基本戦略で掲げた課題と計画目標の達成に向けて、全力で取り組んでおります。

中期経営計画「VALUE UP 21」(19年4月～22年3月)

目指す銀行像

「お客さま満足度No.1銀行」、「県民のベストリテールバンク」



目標とする指標

	コア業務純益	経常利益	当期純利益	コアROA	ROE	コアOHR	自己資本比率	不良債権比率	分配可能額
21年度目標	200億円	55億円	36億円	0.57%	2.47%	64.24%	10.00%	2%台前半	486億円

用語解説

コア業務純益 …… 銀行の本業(資金の運用、手数料等)から得られた利益のこと。

コアROA …… 利益を総資産で除して求める収益性の財務指標で高い方がよい。

ROE …… 株主資本に対する純利益の比率のことで、株主資本をもとに当行が1年間に上げた収益を知る指標で高い方がよい。

コアOHR …… 業務粗利益に対する経費の割合のことで、営業の効率性(利益を上げるためにどのくらいの経費をかけているか)を示す指標で低い方がよい。

分配可能額 …… 剰余金のうち配当可能な額のこと。

内部管理体制

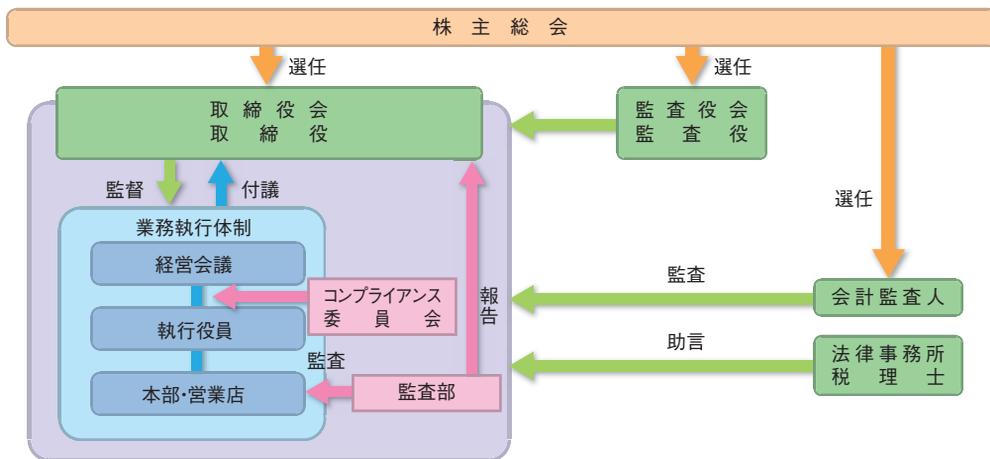
当行は、社会の一員として、地域社会との良好な関係を保ちながら持続的に発展を続けるため、コーポレート・ガバナンス（企業経営に不正行為がないことをチェックする機能）の充実、コンプライアンス（法令遵守）の徹底など内部管理体制の強化に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

当行では、コーポレート・ガバナンスの充実を経営上の重要課題と認識し、法令、行内規程を遵守しつつ、取締役会及び監査役会において、取締役の職務の執行について厳正な監視を行っています。また、執行役員制度により、経営と業務執行の役割分担を明確化し、取締役と執行役員がそれぞれ責任を持って業務を行う体制としています。経営の観点からもコンプライアンス全般を評価し、社会規範に則した誠実、公正で透明性の高い企業活動を実現するため、コンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスに係る推進施策、コンプライアンス体制などについて審議しています。

[コーポレート・ガバナンス体制図]

平成21年9月30日現在



お客さまへの商品勧誘にあたって

当行は、「金融商品の販売等に関する法律」等に基づき、金融商品の販売に係る勧誘を行う場合、次の事項を遵守するよう定めています。

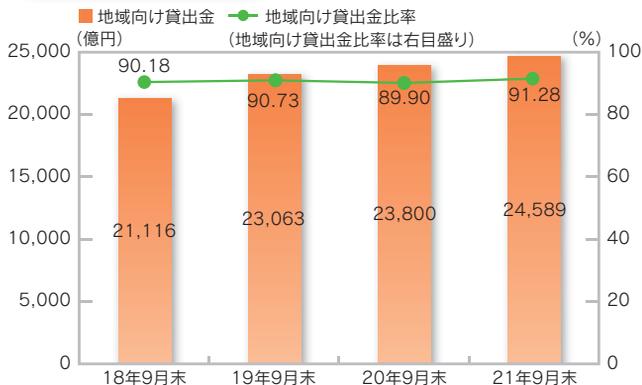
1. お客さまの知識、経験、保有資産の構成、投資目的やご意向を勘案させていただいた上で、お望みの目的にかなうと判断される金融商品をお勧め致します。
2. 最終的にはお客さま自身のご判断でお取引いただくため、お客さまに対し商品の「仕組み」や「リスクの内容」など重要な事項を十分ご理解いただけるよう、説明に努めます。
3. 断定的な判断を申し上げたり、事実でない情報を提供するなど、お客さまの誤解を招くような勧誘は行いません。
4. お客さまにとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行うことは致しません。
5. これらの勧誘方針に沿った適正な勧誘を行うために、研修体制の充実や行内ルールの整備に努めます。

県民の皆さまとともに

県民の皆さまへの貸出金、県民の皆さまからの預金・預り資産

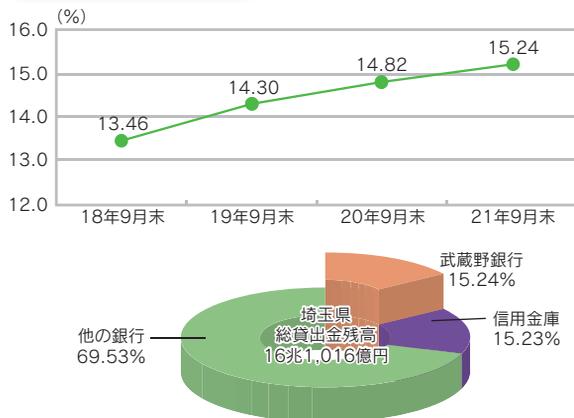
※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

地域向け貸出金



21年9月末の地域向け貸出金は、前年同期比789億円増加し、2兆4,589億円となり、地域向け貸出金比率は91.28%となりました。

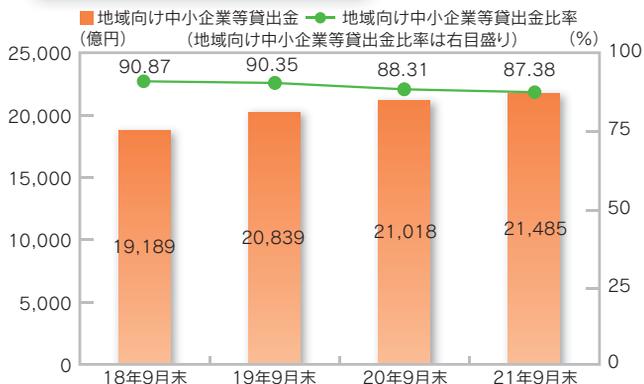
県内貸出金シェア



地域向け貸出金が増加したことに伴い、21年9月末の埼玉県内の貸出金シェアは、前年同期比0.42%増加し、15.24%となりました。

出所：日本銀行調査統計局資料ほか
銀行は全店舗計(属地主義)、信用金庫は本店所在地ベース

地域向け中小企業等貸出金



21年9月末の地域向けの中小企業等に対する貸出金残高は、前年同期比467億円増加し、2兆1,485億円となりました。また、地域向け中小企業等貸出金比率は87.38%と、引き続き高い割合を維持しております。

地域の個人ローン



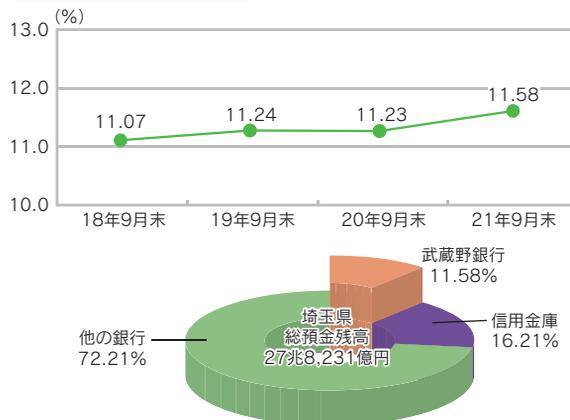
21年9月末の地域の個人ローン残高は、前年同期比803億円増加し、1兆974億円となりました。

地域からの預金



21年9月末の地域からの預金残高は、前年同期比1,876億円増加し、3兆2,426億円となりました。この結果、地域からの預金比率は、99.31%となりました。

県内預金シェア



地域からの預金が着実に増加したことに伴い、21年9月末の埼玉県内の預金シェアは、前年同期比0.35%増加し、11.58%となりました。

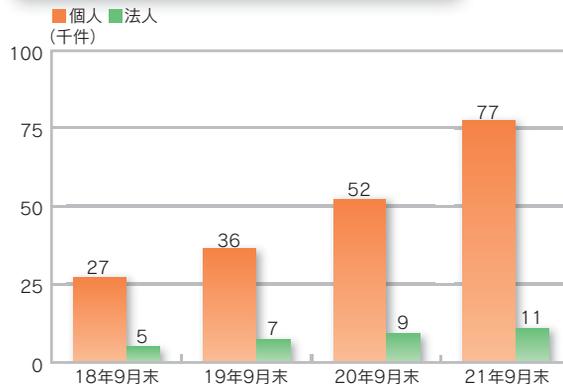
出所：日本銀行調査統計局資料ほか
銀行は全店舗計(属地主義)、信用金庫は本店所在地ベース

地域からの預り資産



21年9月末の地域からの預り資産残高は、前年同期比298億円増加し、5,577億円となりました。

インターネットバンキング口座契約数

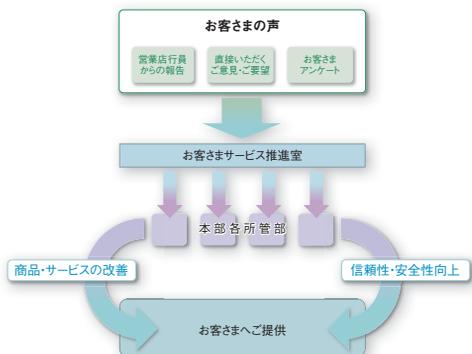


インターネットバンキングの口座契約数は、個人向け・法人向けともに、毎年着実に増加しています。

県民の皆さまとともに

お客さま満足度向上に向けての取組み

当行では、中期経営計画「VALUE UP 21」の基本方針で掲げている「お客さま満足度No.1銀行」を追求するため、お客さまからのご意見・ご要望をさまざまな形で営業諸施策に反映させる取組みを行っています。
平成20年12月から開始しました「まごころ向上運動」や郵送及び手交による「お客さまアンケート」などを展開するとともに、お客さまからのご意見・ご要望を「お客さまの声」として収集し、改善に向けた取組みを行うなど全行挙げてCS向上に努めております。



お客さま満足度向上に向けた行内体制(イメージ図)



21年上半年「まごころ向上運動」行員褒賞制度に伴う表彰式

地域活性化のために

当行では産学連携をはじめ、お客さまからの各種相談やニーズにお応えするため県内の大学との連携を進めています。
平成21年10月1日(木)には、本年創立60周年を迎えた埼玉大学と埼玉県の地域活性化を目的とする「連携に関する協定書」を締結しました。



埼玉大学と「連携に関する協定書」を締結

振り込み詐欺を未然に防ぐために

当行では、全営業店に「振り込み詐欺被害防止マスター」を配置し、お客さまの振り込み詐欺被害の未然防止に取り組んでいるほか、店舗外ATMコーナーに携帯電話電波感知方式の「音声警告装置」の設置を進めています。
このような取組みが評価され、平成21年7月24日(金)、警察庁振り込み詐欺対策室長から感謝状が贈られました。



振り込み詐欺未然防止への取り組みが評価され警察庁から感謝状が贈呈されました

地域の社会福祉に貢献

埼玉県では、ご高齢の方や障害をお持ちの方を含む誰もが利用しやすく、皆にやさしいサービスを提供する店舗「彩の国福祉宣言店」の拡大を進めておりますが、当行はこれに賛同し、平成21年9月1日(火)、県内金融機関として初めて県内89か店を「彩の国福祉宣言店」として登録しました。また、急速な高齢化により認知症の方が増加することが予想されることから、当行では、「認知症サポーター養成講座」を実施し、認知症を正しく理解し認知症の人々の応援者となる「認知症サポーター」を全店に配置しました。



認知症サポーター養成講座を実施



「世界アルツハイマーデー」の街頭キャンペーンに参加する
当行の認知症サポーター

自然環境保全に関する取組み

当行では、緑豊かな埼玉の自然を次世代に引き継ぐため、公益信託「むさしの緑の基金」による助成活動のほか、埼玉県の「緑のトラスト基金」への寄付などを行っています。

また、期間限定で「むさしの水と緑の定期預金」を定期的に取り扱い、お客さまからの預入総額の0.01%相当額を埼玉県の「彩の国みどりの基金」に寄付し、県内の水源と緑を守るためにお役にたっています。



平成21年度公益信託「むさしの緑の基金」助成金贈呈式



県の「緑のトラスト基金」への寄付に対し、上田知事から感謝状が贈呈されました

県民の皆さまとともに

地域の文化・スポーツの振興

地域の子供たちにプロが奏でる音楽に触れる機会を提供できればと、ヴァイオリニストの吉田恭子さんらにご協力いただき、小学校の音楽室等でコンサートを開催しています。21年度上半期は、さいたま市内の4つの小学校で開催しました。また、地域のスポーツ振興のお役に立てればと、サッカーJリーグチーム「大宮アルディージャ」のオフィシャルスポンサーとして、年に一度、当行プレゼンツマッチを開催しており、21年度は7月4日(土)、NACK5スタジアムにて開催しました。



小学校の音楽室等でコンサートを開催



当行プレゼンツマッチの開催前に挨拶する加藤頭取

教育活動への支援

当行では、地域の子供たちの教育活動支援の一環として、各営業店にて小中学生の職場体験学習や支店見学会を行っています。また、大学生の就業意識の醸成に貢献できればと「インターンシップ」を実施しており、21年度は、人事部にて3名、ぶざん地域経済研究所にて3名の学生を対象に行いました。



地元中学生の職場体験学習(みずほ台支店)



インターンシップ

株式情報

株式のご案内

- 1.事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 2.定時株主総会** 毎年6月に開催
- 3.剰余金の配当** 株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
- 4.中間配当** 取締役会の決議により9月30日の最終株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
- 5.基準日** 定時株主総会については毎年3月31日
- 6.公告の方法** さいたま市において発行する埼玉新聞及び東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
なお、決算公告につきましては、新聞紙上に掲載する方法に代えて、当行のホームページに掲載いたします。
- 7.株主名簿管理人及び特別口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)
(ご注意) 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、ご注意ください。

特別口座に記録された株主さまへ

- 特別口座のままでは売買を行うことはできません。証券会社等に株主さまご本人の口座を開設(既に開設している場合は不要です。)し、特別口座から証券会社等の口座に振替請求を行ってください。
- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求、買増請求、住所変更等のお手続きは、以下の口座管理機関にお申し出ください。

【特別口座の口座管理機関】

東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (平日9:00~17:00) <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

大株主の状況

(平成21年9月30日現在)

(株・%)

株主名	所有株式数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,921,000	5.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,818,987	5.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,302,100	3.77
明治安田生命保険相互会社	735,858	2.13
株式会社損害保険ジャパン	723,900	2.10
武蔵野銀行従業員持株会	717,831	2.08
住友生命保険相互会社	702,900	2.04
日本生命保険相互会社	540,222	1.56
株式会社みずほコーポレート銀行	533,422	1.54
株式会社西日本シティ銀行	503,800	1.46

※小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式の状況等

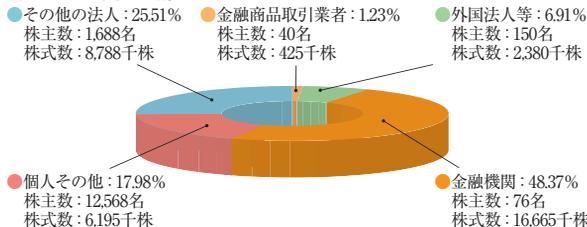
(平成21年9月30日現在)

※単元未満株式を除きます。
(単元の株式数は100株です。)

●発行済株式の総数…… 34,455千株

●株主数…… 14,522名

株主の所有者別構成

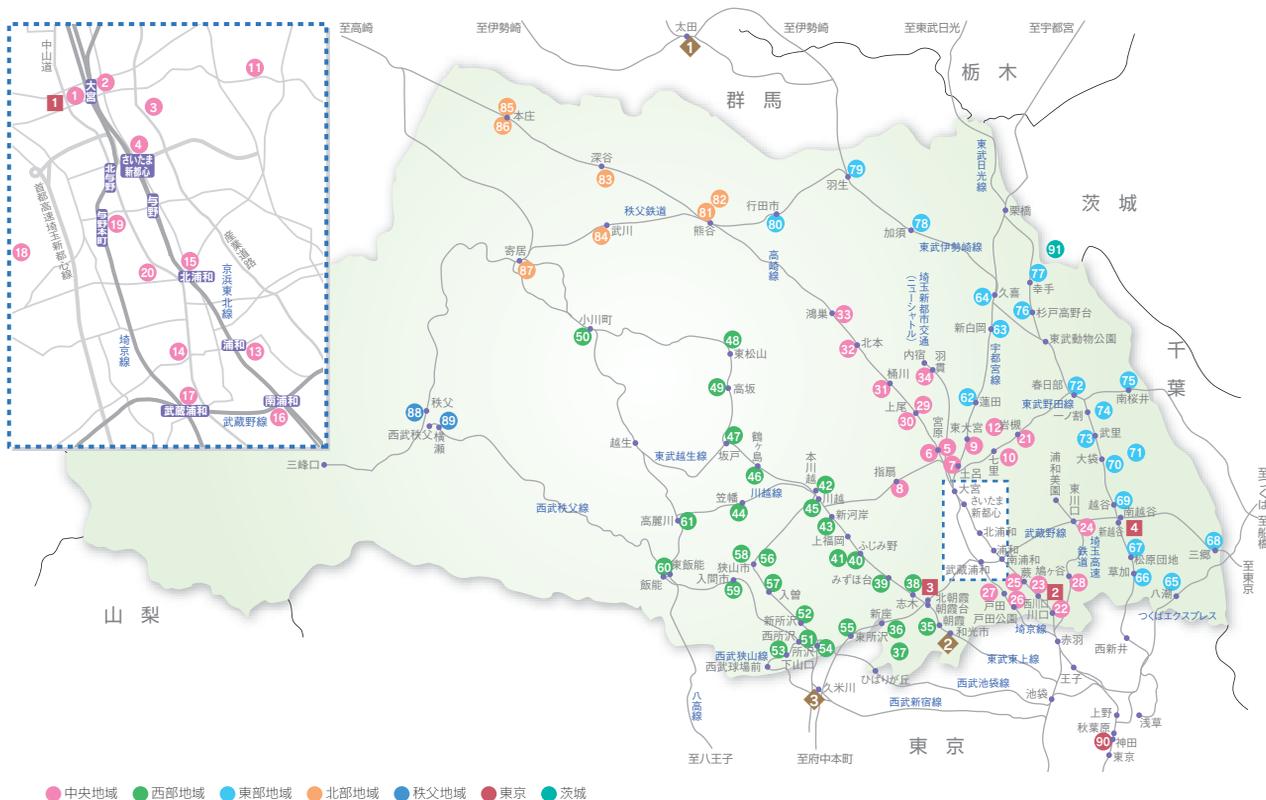


①自己株式543,600株は「個人その他」に含まれております。

②単元未満株式は、株主数7,349名、所有株式数188,156株です。

③「その他の法人」には、証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。

武蔵野銀行の店舗配置図



● 中央地域 ● 西部地域 ● 東部地域 ● 北部地域 ● 秩父地域 ● 東京 ● 茨城

- | | | | | | | |
|---------------|----------------|----------------|---------------|---------------|------------|-----------------|
| 1 本店営業部 | 16 南浦和支店 | 31 桶川支店 | 46 鶴ヶ島支店 | 61 日高支店 | 76 杉戸高野台支店 | 91 五霞支店 |
| 2 大宮支店 | (南浦和住宅ローンセンター) | 32 北本支店 | 47 坂戸支店 | 62 蓮田支店 | 77 幸手支店 | ◆ 太田オフィス |
| (大宮住宅ローンセンター) | 17 武蔵浦和支店 | 33 鴻巣支店 | 48 東松山支店 | 63 新白岡支店 | 78 加須支店 | ◆ 和光オフィス |
| 3 天沼支店 | 18 白鍬支店 | 34 伊奈支店 | 49 高坂支店 | 64 久喜支店 | 79 羽生支店 | ◆ 西東京オフィス |
| 4 さいたま新都心支店 | 19 朝霞支店 | 35 朝霞支店 | 50 小川支店 | (久喜住宅ローンセンター) | 80 行田支店 | 1 大宮西口住宅ローンセンター |
| 5 宮原支店 | 20 北浦和と西口支店 | 36 新座支店 | 51 所沢支店 | 65 八潮支店 | 81 熊谷支店 | 2 川口住宅ローンセンター |
| 6 宮原西口支店 | 21 岩槻支店 | 37 新座南支店 | 52 新所沢支店 | 66 草加支店 | 82 熊谷東支店 | 3 朝霞住宅ローンセンター |
| 7 大宮北支店 | 22 川口支店 | 38 志木支店 | (所沢住宅ローンセンター) | 67 松原支店 | 83 熊谷西支店 | 4 南越谷住宅ローンセンター |
| 8 指扇支店 | 23 西川口支店 | 39 みずほ台支店 | 53 下山口支店 | 68 三郷支店 | 84 深谷支店 | |
| 9 東大宮支店 | 24 東川口支店 | 40 ふじみ野支店 | 54 所沢駅前支店 | 69 越谷支店 | 85 川本支店 | |
| 10 七里支店 | 25 蔵支店 | 41 大井支店 | 55 東所沢支店 | 70 大袋支店 | 86 本庄支店 | |
| 11 片柳支店 | 26 戸田支店 | 42 川越支店 | 56 狭山支店 | 71 松伏支店 | 87 本庄南支店 | |
| 12 深作支店 | 27 戸田西支店 | 43 新河岸支店 | 57 入曽支店 | 72 春日部支店 | 88 寄居支店 | |
| 13 浦和支店 | 28 鳩ヶ谷支店 | 44 霞ヶ関支店 | 58 狭山西支店 | 73 武里支店 | 89 秩父支店 | |
| 14 県庁前支店 | 29 上尾支店 | 45 川越南支店 | 59 入間支店 | 74 藤ヶ丘支店 | 90 横瀬支店 | |
| 15 北浦和支店 | 30 西上尾支店 | 46 川越住宅ローンセンター | 60 飯能支店 | 75 庄和支店 | 91 東京支店 | |

平成21年12月1日現在

武蔵野銀行 ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8 TEL.048-641-6111(代)

発行/平成21年12月 編集/武蔵野銀行 総合企画部 広報・IRグループ

PRINTED WITH SOY INK
環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。